

毎年90%以上の生徒が参加するニュージーランド語学研修旅行。写真はテカポ湖の畔に佇む善き羊飼いの教会



竹之内 氏
進路指導部 主任
この前向きな気持ちを応援す
るため、多くの生徒は、高校
2年の1月には気持ちを切り替
え、受験に集中する姿勢が取れるようになります。



進路指導部主任
日野 哲也先生

希望者が一人でも開講
多彩で豊富な夏期講習
——高校から、本格的に受験に向けた体制になるのでしょうか。

日野 文理別・進路別のコースに分かれるので、受験を意識する雰囲気にはなります。ただし、高校2年までは、とにかく思い切り行事に参加することを学校側は応援します。

中の中の英語クラスは内進生と混合するため、両者の距離は一気に縮まります。互いに刺激を与え合いながら、自分の将来や勉強に対する前向きなモチベーションを高めるいい機会になっています。

希望者が一人でも開講 多彩で豊富な夏期講習

——高校から、本格的に受験に向けた体制になるのでしょうか。

日野 受験は個人戦だと思われがちですが、本校では「受験は団体戦」と考えています。一人で戦うではなく、仲の良い友人と切磋琢磨し、信頼のおける教員の支えを活かして壁を乗り越えようという雰囲気・文化を大切にしています。この「みんなと頑張る」という一体感が学

——進路指導に関しては、どのような方針で臨まれているのでしょうか。

日野 保護者向けの進学講演会も実施しており、志望校や受験プランなどを決める場合には、生徒と保護者、教員の三者による意思決定を基本にしています。すでに生徒



校舎の裏山には竹林があり、毎年5月頃になるとタケノコ掘りを行っている

——進路指導に関しては、どのような方針で臨まれているのでしょうか。

日野 保護者向けの進学講演会も実施しており、志望校や受験プランなどを決める場合には、生徒と保護者、教員の三者による意思決定を基本にしています。すでに生徒

——進路講演会なども数多く実施し、適切な情報を最適なタイミングで提供し、先を見た指導を心がけています。そのため、多くの生徒は、高校2年の1月には気持ちを切り替え、受験に集中する姿勢が取れるようになります。



複数回実施される個人面談を通して、生徒と教員の人間関係を作っています。



生徒と教員の信頼感をベースに機動性の高い進路指導を実現



2019年度入試で国公立に44名、早慶上理に132名の合格者を出すなど、近年、大学進学実績が上昇を続けている帝京大学中学校・高等学校。部活動や学校行事に真剣に取り組むことで醸成されていく“みんなで頑張ろう”という一体感が原動力になっている。どのような進路指導を目指し、どのような教育プログラムを実践しているのか、進路指導部副主任の日野哲也先生と、入試広報部主任の竹之内毅先生のお二人に話を伺った。



入試広報部主任
竹之内 毅先生

常に見ていることも、学校で勉強するという文化を育んでいる気がします。

日野 学校の規模も

ちょうどいいのではないかと思っています。受験では学力を伸ばす

だけなく、精神面や体力面でのケア

も重要です。困ったとき、必要など

に、相談しやすい先生が、学年や

教科を超えて存在していることは、

生徒の大きな安心材料になつてい

ています。

サポートしています。こうした地道な日々の営みこそが、強い信頼感を生んでいるのだと思います。

竹之内 その一体感を支えてるのは、教員と生徒、あるいは生徒同士の信頼感です。本校の生徒は、クラス単位の体育大会、文化祭などの行事に全力で取り組んでいます。

——

生徒の力

を伸ばすために、

どうな取り組みをされていますか。

竹之内 6年間を2年ずつ「基礎学力育成期」「思考力育成期」「判断力応用力育成期」の3期に分けた貫教育システムを採用し、発達段階に応じた最適な教育プログラムを展開しています。ただ、大学入試は容易に突破できるものではないの

を確立できた生徒たちは、その後も

どんどん伸びていくことがわかつてい

るため、中学1～2年のうちに学習習慣を身につけさせ、基礎学力を定

めることで、

朝講座を繰り返すこと

で勉強習慣を早期に確立

——生徒の力を伸ばすために、

どうな取り組みをされていますか。

竹之内 習熟度別授業も、中学1年の2学期から導入しています。

数学と英語をそれぞれ2クラスに分

けることが多く、下のクラスを少人数

にして基礎を身につけさせる指導を

も重要です。困ったとき、必要など

に、相談しやすい先生が、学年や

教科を超えて存在していることは、

生徒の大きな安心材料になつてい

ています。

——

朝講座を

繰り返すこと

で勉強するという文化を

育んでいます。

常に見ていること、力を注いでいます。

日野

朝講座や習熟度別授業の実施は、そうした取り組みの代

表

です。朝講座は、中学1～3年

を対象に週3回、10分程度で行う

小テストで一定の成果が出ないと再

テストを行い、それでも理解が足りない場合は補習を行うなど、徹底

して基礎を身につけさせることで、全員が

理解できるように工夫しています。

竹之内

いつまでも手取り足取りで

は、受験は乗り切れませんから、少し

ずつ自主性を育てる方向に切り替え

ています。たとえば、中学3年では

数学と英語をそれぞれ2クラスに分

けることから始まるこの活動は、生

徒にとってはとても大変です。この活

動を通じて、自分で課題を設定する

「卒業論文」を書きます。自分が調べ

たいテーマや課題を設定し、研究を

します。テーマに沿った本を数冊読み

込むことから始まるこの活動は、生

徒にとってとても大変です。この活

動を通じて、自分で課題を設定する

「基礎学力育成期」「思考力育成期」「判断力応用力育成期」の3期に分

けた貫教育システムを採用し、発達

段階に応じた最適な教育プログラム

を実施しています。また、大学入試

は容易に突破できるものではないの

を確立できた生徒たちは、その後も

どんどん伸びていくことがわかつてい

るため、中学1～2年のうちに学習

習慣を身につけさせ、基礎学力を定

めることで、

朝講座を

繰り返すこと

で勉強するという文化を

育んでいます。

——

朝講座や習熟度別授業の実施は、

朝講座は、中学1～3年

を対象に週3回、10分程度で行う

小テストで一定の成果が出ないと再

テストを行い、それでも理解が足り

ない場合は補習を行うなど、徹底

して基礎を身につけさせることで、全員が

理解できるように工夫しています。

竹之内

練

習度別授業も、中学1～3年

を対象に週3回、10分程度で行う

小テストで一定の成果が出ないと再

テストを行い、それでも理解が足り

ない場合は補習を行うなど、徹底

して基礎を身につけさせることで、全員が

理解できるように工夫しています。

——

朝講座や習熟度別授業の実施は、

朝講座は、中学1～3年

を対象に週3回、10分程度で行う

小テストで一定の成果が出ないと再

テストを行い、それでも理解が足り

ない場合は補習を行うなど、徹底

して基礎を身につけさせることで、全員が

理解できるように工夫しています。

——

朝講座や習熟度別授業の実施は、

朝講座は、中学1～3年

を対象に週3回、10分程度で行う

小テストで一定の成果が出ないと再

テストを行い、それでも理解が足り

ない場合は補習を行うなど、徹底

して基礎を身につけさせることで、全員が

理解できるように工夫しています。

——

朝講座や習熟度別授業の実施は、

朝講座は、中学1～3年

を対象に週3回、10分程度で行う

小テストで一定の成果が出ないと再

テストを行い、それでも理解が足り

ない場合は補習を行うなど、徹底

して基礎を身につけさせることで、全員が

理解できるように工夫しています。

——

朝講座や習熟度別授業の実施は、

朝講座は、中学1～3年

を対象に週3回、10分程度で行う

小テストで一定の成果が出ないと再

テストを行い、それでも理解が足り

「選択できる力」をキーワードに多様な選択肢を提供する共学校へ

キュラムを導入する。

必修授業を減らし
自分が目指す道に合わせて
柔軟に授業を選べる

2020年4月、女子教育の伝統校・小野学園女子中学・高等学校が、共学の品川翔英中学校・高等学校として再スタートする。多様化、複雑化、グローバル化する社会を見据え、どのような状況の中でも最適な判断ができるよう力育てたいとの願いから、大胆な改革に踏み込んだ。どのような教育を展開していくのか、理事長の小野時英先生に伺った。



人型ロボットPepperを動かして、プログラミングの仕組みを学ぶ授業も



品川翔英中学校・高等学校

英中学校・高等学校として再スタートする。多様化、複雑化、グローバル化する社会を見据え、どのような状況の中でも最適な判断ができるよう力育てたいとの願いから、大胆な改革に踏み込んだ。どのような教育を展開していくのか、理事長の小野時英先生に伺った。

意を語る。

校名の「翔英」には、グローバル企業が多数集積し、世界の玄関口・羽田空港にも近い品川に立地する学校として、そこで身についた英知を携えて世界に飛翔してほしいとの願いが込められている。

世界に羽ばたくには、変化に柔軟に対応する力、そのときどきに最も適切な道を

判断できる力つまり「選択できる力」が求められる。それを育成するには、「知識」「経験」「教養」を有機的に

結合した教育が有効だ。

「知識」は狭義では大学に進学できる学力だが、広義には社会を理解する力も含む。社会の理解には「経験」も重

要だ。「知識」と「経験」は個人のなかで融合されて「教養」へ昇華し、その人にとっての最適解を「選択できる力」につながっていく。

「本校は、女子にも教育を」という時代の要請に応えたいという創立者の熱い思いからスタートしています。そのDNAを受け継ぎ、次の時代に求められる人材育成のため、思い切った改革を行うことになりました」と小野先生は決

小野学園女子中学・高等学校から大変な変身を遂げる背景には、時代の大変な変化がある。

「本校は、女子にも教育を」という時代の要請に応えたいという創立者の熱い思いからスタートしています。そのDNAを受け継ぎ、次の時代に求められる人材育成のため、思い切った改革を行うことになりました」と小野先生は決

全員で学ぶ授業のない時間には、特定の科目を深く学んだり、大学や企業と連携した教育プログラムに参加したり、あるいは学校に来ないで自宅でオンライン英会話の学習をしたりといったことが可能になる。

「本校でも多彩なプログラムを用意しますし、校外のプログラムに参加しても構いません。最も大切なのは生徒の興味を最大限に引き出すことであり、生徒が将来の進路を見据えた上で、自らの学びを選択できる“ように”したいと考えています」

小野時英先生

「個別最適化学習とモチベーションの刺激で個性を引き出すカリキュラム」とはいえ、中学に入学してすぐに授業を選択できる“ように”したいと考えています」

小野時英先生

「何がきっかけで生徒のやる気に火がつき、学習へのモチベーションが飛躍的に高まるかわかりません。そんな刺激を与えられるように、企業や大学と連携するような多彩なプログラムを導入していく考えです」

3つ目は、「グローバルスキルを育成するプログラムの導入」だ。グローバル社会で生きるには、多様な価値観や考え方があることを理解した上で、共生

業を選択するのは難しい。そこで、6年一貫教育を2年ずつ3段階に分け、中1～2の2年間で基礎を徹底的に学んだ上で、中3から徐々に選択科目を増やしていく。

カリキュラムは3つの柱からなる。1つは「個別最適化学習の導入」だ。個々の学習スピードや学び方に合わせるために、中1と高1全員がiPadを持ち、ICT教育により数学や英語、個別最適化学習を実現していく。

2つ目は、「ワクワク感や意欲・志

を刺激するプログラムの導入」だ。生徒の知的な好奇心を刺激するのは、学校の授業だけではない。

3つ目は、「グローバルスキルを育成するプログラムの導入」だ。グローバル社会で生きるには、多様な価値観や考え方があることを理解した上で、共生

の地に、多様な希望を抱いた生徒たちが集い、それぞれの進路実現を目指して自らの学びをデザインし、それを教員たちが支えていく——そんな未来志向の学校の登場に、新しい時代の学校像が垣間見える。

していくことが大切だ。そこで、演劇を通じて「コミュニケーション能力などを育む」「ドラマ・エデュケーション」を採用するほか、「SDGs（持続可能な開発目標）への取り組みプログラム」などの教育活動などに力を入れ、他者を受け入れ、他者と共に歩むのに必要なスキルを修得していく。

「既存の中高一貫校とは一線を画す教育を目指しています。本当に生徒の個性を尊重するなら、東大を目指す生徒にも、芸術やスポーツの方面に進

む生徒にも、海外の大学に進学する生徒にも、それぞれの進路を実現できる力をうけさせてあげたい。そのベース基

地となるような学校にしていきたい

と思っています」

世界的に活動する企業が集まる品川

の地で、多様な希望を抱いた生徒たち

が集い、それぞれの進路実現を目指して

自らの学びをデザインし、それを教員た

ちが支えていく——そんな未来志向の

学校の登場に、新しい時代の学校像が

日経マガジン 教育特集号 ★読者プレゼント

本特集に関するアンケートにお答えいただいた方の中から、抽選で図書カード2,000円分を10名様にプレゼントします。

◎応募締切…2020年2月16日(日)

※お申し込みはお一人につき1回でお願いします。

※当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。

★ご応募はこちらのサイトよりお申し込みください。

<http://adnet.nikkei.co.jp/>

または、[日経アドネット](#) 検索

